

# 山形美術館 令和5年度事業報告

## 概要

令和5年度の公益事業は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にある中で実施された。春に「こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界」、夏に「遠藤彰子展 巨大画で挑む生命の叙事詩」、秋に「ゼロ[から]の絵画 木嶋正吾展」、冬に「没後50年 土田文雄展」と「近岡善次郎 聖なるイメージ」、以上5本の企画展を開催した。さらに山形県民の美術振興を図る3県展を実施した。

収蔵品展事業においては、長谷川コレクション、服部コレクション、吉野石膏コレクションの作品を、テーマを設けて年間を通して展示し、収蔵品の魅力を紹介した。また創作活動を行う個人・団体に対する20の展示施設貸与事業を行った。

そのほかキャンパスメンバーズ制度に継続して取り組むとともに、収蔵品の貸出し協力、大学生の実習生受け入れ指導を行った。

これら公益事業関連の展覧会総入場者数は89,565人となった。昨年度72,836人と比較すると、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したこともあり、企画展事業と収蔵品展事業で12,633人の増加、展示施設貸与事業で4,096人の増加、合計で16,729人の増加となった。

収益事業は、1階の「ブローニュ」の営業、およびミュージアムショップでの企画展や収蔵品展に合わせたグッズの取り扱いを実施した。

法人運営および施設管理では、適切な収蔵品管理に努め、また外壁タイル改修工事を行い、設備、内装、備品などの点検、長期改修計画を検討した。また博物館法の改正に伴う博物館登録を行った。

## 1. 公益事業

### ①企画展事業

山形県民はじめ広く美術愛好者に国内外の優れた美術作品および関連資料を鑑賞する機会を提供する以下の事業を行った。

#### 4月1日—5月7日 こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界

「こぐまちゃんとしろくまちゃん」で知られる絵本作家・わかやまけん（若山憲、1930–2015）の創作世界を紹介する回顧展を開催した。同シリーズに使われた貴重な手刷りのリトグラフ原画や雑誌の表紙や紙芝居の原画や資料約230点を展示し、年代順に分けた展示構成によって作者の幅広い活動を紹介した。関連事業として東北文教大学児童文化部学生による絵本の読み聞かせ（4月2日、9日）や、着ぐるみの撮影会（4月30日、5月1日、3日、4日、5日）、他館のボランティアを講師として迎えたワークショップ（4月23日）を行うなど、他機関との連携による催しを実施。幅広い世代に愛される絵本の世界を多角的に紹介した。

（入場者 27,271人）

#### 7月14日—8月27日 遠藤彰子展 巨大画で挑む生命の叙事詩

武蔵野美術大学名誉教授で美術団体「二紀会」を中心に活動する洋画家・遠藤彰子（1947–）の初期から最新作までを紹介する展覧会を開催した。圧倒的な存在感を誇る幅7メートルを超える巨大画や、山形県内の伝承を題材とした作品、立体作品など約80点を展示。関連事業として初日の開展式、作家による講演会（7月15日）やギャラリートーク（7月16日）、山形在住の怪談作家・黒木あるじ氏による「ナイトミュージアム」（7

月 29 日)、作家による公開制作や芸術指導「遠藤彰子芸術道場」(8 月 5 日、6 日)などを開催。担当学芸員によるギャラリートーク(7 月 27 日、8 月 3 日、10 日、17 日、24 日)や、鑑賞中の会話を妨げない「かたらい鑑賞 Day(8 月 8 日)など館独自の催しも行い、作品の魅力を紹介した。(入場者 10,656 人)

### **9 月 2 日—9 月 18 日 第 78 回山形県総合美術展**

山形県の美術振興と美術家のレベル向上を目指して毎年開催している県内最大の公募展。日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門に搬入された499点を、橋本弘安(日本画)、遠藤彰子(洋画)、岩間弘(彫刻)、藤原信幸(工芸)の4氏が厳正に審査。会場には、入賞・入選、審査員、委嘱、無鑑査の作品、東北芸術工科大学教員の招待作品など、合わせて436点を展示した。出品者の幅広い年代による独創性あふれる作品や、若い世代の斬新な感性が光る作品が目立った。第65回こども県展には、県内の園児、小中生から11,991点の応募があった。岡山大学教授・清田哲男氏が審査し、指導者と子供達の信頼関係や互いの熱意が感じ取れると総評し、3階に入賞・入選1,019点を展示した。(入場者 7,025人)

### **9 月 23 日—10 月 9 日 第 48 回山形県総合書道展**

山形県内および出身者の書家、書道愛好家から広く作品を公募し開催した。今回は、漢字・かな・調和体・近代詩文・少字数・篆刻の6部門に、高校生から90代までの幅広い年代の書家・書道愛好家から、一般公募189点、役員・会友265点を合わせ454点の作品が搬入された。県内の書家・青柳祥雲、植松龍祥、高橋嶽崖、秋葉煌洋、我彦芳柳、西村 瑛、松田史道、平田洋子の8氏による審査の結果、県知事賞など入賞13点、奨励賞15点、褒状30点、入選134点が厳正に選抜された。会場には入賞・入選作に審査員、役員、会友の書作を加え416点を展示。漢詩や近代詩、漢字一文字、篆刻など、文字の大小や墨の濃淡、字形と線質を工夫した個性あふれる作品が並んだ。9月23日に青柳祥雲氏、9月30日に我彦芳柳氏による作品解説会を実施し、多くの人に書の魅力や作品の良さに触れる機会とした。(入場者 2,353人)

### **11 月 3 日—11 月 19 日 ゼロ[から]の絵画 木嶋正吾展**

山形市出身の画家・木嶋正吾(1953-)が1980年代から取り組んできた絵画「零度」の金属片を使った幾何学的構成の作品から、2000年以降の明るい色合いのコラージュによる最新作まで46点を展示し、作家が追究する「絵画」のイメージ豊かな世界を紹介した。会期中には作家によるギャラリートーク(11月3日、19日)、担当学芸員によるギャラリートーク(11月5日、12日、19日)を開催。約40年間の作家生活での出来事や、樹氷や最上川など山形の風景に着想を得た話などから、作家の思いや抽象画について理解を深める機会とした。(入場者 1,656人)

### **12 月 14 日—2024 年 1 月 28 日 没後 50 年 土田文雄展**

米沢市出身の洋画家・土田文雄(1901-1973)の没後50年を記念しその活動を振り返る展覧会を開催した。美術団体「国画会」に所属し、武蔵野美術大学の教授としても活躍した作家の初期から晩年にかけての作風の変化を楽しむ機会とした。収蔵品より土田文雄の油彩画70点と、妻で同じく画家の土田次枝の油彩画1点を制作年代順とテーマを組み合わせた3章構成で紹介。会期中は担当学芸員によるギャラリートーク(12月16日、23日、1月13日)を行い、作家の経歴や作品の見どころについて解説した。(入場者 2,838人)

### **12 月 14 日—2024 年 1 月 28 日 近岡善次郎 聖なるイメージ**

新庄市出身の洋画家・近岡善次郎(1914-2007)による東北の民話や風俗、信仰をテーマとした作品など、画家が追求した聖なるイメージを特集する展覧会を開催した。収蔵品より油彩画29点と、特別出品として個人所蔵のガラス絵1点を展示。テーマに合わせた3章構成で、作家の言葉や関連資料からの引用文などとして

もに紹介した。会期中は担当学芸員によるギャラリートーク(12月17日、1月7日、14日)と山形大学名誉教授による講演会(1月14日)を開催。近岡独自の表現を、新たな切り口で知ってもらう機会とした。(入場者 2,838人)

## 2月22日—3月24日 第58回山形県写真展

県内の写真愛好家の質的向上と相互交流を目的に1967年に第1回展を開催し、今年度で58回を迎えた。本展には、16歳から95歳までの427名から1,950点の一般公募作品が搬入。日本写真家協会前会長の写真家・野町和嘉氏による2日間にわたる審査によって、入賞12点、準入賞10点、努力賞10点、入選432点が選ばれた。会場には公募作品に加え、審査員と無鑑査作品、計480点を展示した。山形ならではの雪景色など場数を踏んだ洗練された力作や、祭りや動物写真など、バラエティー豊かな写真が並んだ。YouTubeの当館公式チャンネルで、野町氏による審査講評などの動画を公開した。また会期中の2月25日には山形交響楽団メンバーによるフルート四重奏コンサートを開催した。(入場者 6,084人)

## ②収蔵品展事業

山形美術館では、日本の美術、山形関係の美術、フランス近代美術の3分野について、美術作品および関連資料の収集と調査研究を進めている。本年は、1階第1および第2展示室において、長谷川コレクション、服部コレクション、吉野石膏コレクションを、テーマを設け通年にわたって紹介した。

### フランス近代絵画を愉しむ 服部コレクション・吉野石膏コレクション

印象派を中心に、バルビゾン派からエコール・ド・パリまで、多様な作品が揃う「吉野石膏コレクション」と、現代フランス絵画の巨匠たちを中心とした20世紀フランス美術の「服部コレクション」を通して、19世紀から20世紀後半までのフランス絵画の多彩な展開を核とした展示を行った。印象派、ポスト印象派、フォーヴィスム、キュビスム、抽象、シュルレアリスム(超現実主義)など、新しさを追求した近代美術の展開と戦後フランス絵画の伝統と革新が織りなす豊穡な響きあいを紹介した。(入場者 10,521人)

#### 4月1日—6月18日 印象派—光を捉える

コロ、ピサロ、シスレー、モネ、ルノワール、ボナールなど28点

#### 6月22日—8月27日 エコール・ド・パリの画家たち

ピカソ、ユトリロ、ローランサン、藤田嗣治、シャガール、キスリング、ミロなど31点

#### 9月2日—10月29日 色とかたちのバリエーション

モネ、ルノワール、マティス、ピカソ、ブラック、カンディンスキーなど22点

#### 11月3日—12月10日 風景への眼ざし

ピサロ、シスレー、モネ、ルノワール、マルケ、ヴラマンク、ユトリロなど29点

#### 12月14日—3月24日 吉野石膏コレクション名作選

ミレー、ピサロ、マネ、モネ、ルノワール、ヴァン・ゴッホ、ヴラマンク、シャガールなど31点

### 長谷川コレクション—紅花商人が守り伝えた名品

紅花商人ゆかりの二つの長谷川家から寄贈を受けた全292点で構成される日本美術「長谷川コレクション」を紹介する展示を行った。江戸から明治にかけての多彩な作品を、下記7つのテーマに沿って通年にわたり紹介した。(入場者 10,521人)

#### 4月1日—5月28日 大集合!長谷川コレクションの動物たち

円山応挙《雪中竹梅狗子之図》、渡辺華山《溪澗野雉図》など14点

#### 5月30日—7月9日 旅する風景

長沢蘆雪《富士見西行図》、川合玉堂《細雨》など17点  
7月14日-8月27日 俳諧師のアルカディア  
与謝蕪村《奥の細道図屏風》、松尾芭蕉《出羽三山短冊》、横山華山《紅花屏風》など17点  
9月2日-10月29日 書・画・彫・工の共演  
周之冕《蘆鳳図》、岡田半江《米法山水図》など13点  
11月3日-12月3日 山水一心のなかの世界  
田能村竹田《浅絳山水図》や高橋草坪《竹筍蜻蜓図(若竹蜻蜓図)》など19点  
12月5日-1月28日 祝いと祈りの美  
熊代熊斐《松鷲梅孔雀図屏風》、谷文晁《海鶴蟠桃図》など15点  
1月30日-3月24日 めぐる季節の風物  
谷文晁《熊野舟行図》、松村景文《雨中花樗雀雪中臘梅鷓図》など14点

収蔵品展事業等にかかわる本年度新収蔵品は寄贈21件である。遠藤彰子《揺れる風(卯の花姫)》や木嶋正吾《絶対零度84-B》《零度99-27》《零度17-1》といった企画展出品作のほか、會田雄亮作品9点や、番場三雄作品2点など東北芸術工科大学関連作家の作品、新海竹太郎、川崎繁夫、根上富治、加藤松溪、前田春治などの県出身作家の作品を受贈した。今期末での寄託品を除く収蔵品件数は、基本財産収蔵品の一般正味財産(購入)505件、指定正味財産(寄贈)1,197件、合計1,702件となった。

### ③展示施設貸与事業

美術に関する創作活動を行っている個人および団体に対し、当館の展示室と展示用備品を貸与する事業を行った。本年度は、山形県水彩画会展、菅野苔石書展、龍生派山形県支部創立70周年記念いけ花展、日展山形会展、創琢書道展、キャシー中島とメレクイキキルト展、山形県民ふれあい書道展、示現会山形展、樗墨書院展、山形市芸文協総合展、毎日書道展東北山形展、読売書法展東北展、山形県医家美術展、北展、墨華会書道展、MOA美術館山形県児童作品展、東邦書道会全国展、誠筆書展、山形デザイン専門学校卒業進級制作展、山形県健康福祉祭美術展など、20の展覧会が開催された。

### ④その他

収蔵品を活用した事業や指導など以下の事業を行った。

#### 1. 山形美術館キャンパスメンバーズ制度の実施

学校教育等における当館の有効活用を目的に、平成29年度より設けた「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」を本年度は10校が利用。常設・企画展の常時入館無料のほか、授業での解説指導等を実施した。

#### 2. 収蔵品館外貸出による他機関への協力

米沢市上杉博物館で開催された「今泉篤男と美術」に小松均《最上川源流図》など12点を貸し出したほか、「江戸絵画お絵かき教室」(府中市美術館)、「顕神の夢」(川崎市岡本太郎美術館、足利市立美術館、久留米市美術館、町立久万美術館、碧南市藤井達吉現代美術館)、「土とともに 美術にみる〈農〉の世界」(茨城県立近代美術館)、「妖怪探訪-“もののけ”の不思議な世界-」(山寺芭蕉記念館)、「桜井浜江初期作品展」(三鷹市スポーツと文化財団)、「文晁と北斎」(栃木県立美術館)、「モネ 連作の情景」(上野の森美術館)、「彫刻の人 野尻佐太右エ門」(致道博物館)、「マリー・ローランサン 時代をうつす眼」(アーティゾン美術館)など、他機関の企画展に対し収蔵品の貸出協力を行った。

### 3. 博物館実習生の受け入れと指導

博物館実習は、東北芸術工科大学8名をのべ6日間受け入れ、美術館の機能と業務概要、資料の保存管理、地域における美術館のあり方などについて指導した。

### 4. 美術教育普及活動への協力

東北芸術工科大学芸術学部総合美術コースの松村泰三准教授と同コース3年の学生らが吉野石膏コレクションのフランス美術について鑑賞ガイドシートを作成。多様な視点から作品を楽しむツールとして展示室に設置した。

### 5. 障がい者鑑賞の受け入れと連携

展示室やロビーを会場に「白鳥建二さんとアートを見に行くワークショップ」(やまがたクリエイティブシティセンターQ1、やまがたアートサポートセンターら・ら・ら)、「令和5年度やまがた秋の芸術祭 ダンスパフォーマンス まあるいにふれる -feel the circle」(山形市)、彫刻を手で触って鑑賞するワークショップ(やまがたクリエイティブシティセンターQ1、山形市)、彫刻の「触察」体験会(山形市視覚障害者福祉協会)を開催。アクセシビリティ向上のため、他機関と連携した鑑賞体験の受け入れを行った。

### 6. 「山形美術館で会いましょう」の連載

山形新聞の文化欄「山形美術館で会いましょう」(毎週木曜日)に、美術館の企画展や収蔵品展の話題などについて分担執筆し、山形美術館の魅力を発信した。

## 2. 収益事業

1階の「ブローニュ」において、コーヒーや限定メニューの提供により、鑑賞者の憩いの場となるよう努めた。また美術関係の書籍やグッズを販売するコーナーでは、展覧会図録や関連グッズなどの販売物を引き続いて取り扱った。

## 3. 法人運営および施設管理

新型コロナウイルス感染症対策を実施するほか、収蔵品や企画展開催中の作品管理のため温湿度の管理に努めた。また、令和5年1月から7月にかけて外壁改修工事を行うとともに、今後の施設の維持活用のための長期改修計画を検討した。

博物館法の改正に伴う博物館の登録申請を行い、令和6(2024)年2月8日付で山形県教育委員会より登録通知を受け取った。

## 4. 成果と課題

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にある中で、幅広い年代に人気のある絵本作家や山形にゆかりのある現代作家の展覧会、収蔵品を活用した県出身作家の展覧会など、さまざまな分野の企画展を実施した。さらに県内の美術愛好家を対象とする3県展に加え、長谷川コレクション、服部コレクション、吉野石膏コレクションをテーマごとにその魅力を紹介するなど成果を取ることができた。

広報についても、ホームページ、フェイスブックやX(旧ツイッター)に加え、企画展の動画配信によって、企画展概要やイベント情報を発信し、事業の周知に努めた。施設管理については、懸案であった外壁改修が終了

し、設備、内装、備品などの点検を行うことで円滑な美術館運営に資している。施設全体として老朽化が進んでいることもあり、今後とも適切な対応に努めていく。

博物館法の改正趣旨も踏まえ、引き続き地域機関との連携を図り、優れた芸術に触れることのできる芸術創造拠点として、地域の活性化と文化振興に努めていく。

令和5年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

【企画展】

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界	4月1日～ 5月7日	15,304	644	2,356	8,967	27,271	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、県芸術文化協会、山形市、市教委、市芸術文化協会、こぐま社、偕成社、銀の鈴社、クレヨンハウス、俊成出版社、至光社、全国社会福祉協議会、世界文化社、童心社、ポプラ社、ほるぷ出版	4月2、9日10:30と11:30から東北文教大学児童文化部学生による絵本の読み聞かせ。4月23日世田谷美術館ボランティアによるワークショップ。4月30日、5月1、3、4、5日着ぐるみ撮影会。会期中特典として「こぐまちゃん」のぬいえを中学生以下の来館者に配布。
遠藤彰子展 巨大画で挑む生命の叙事詩	7月14日～ 8月27日	6,897	301	390	3,068	10,656	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形県芸術文化協会、山形市、山形市教委、山形市芸術文化協会、東北芸術工科大学、南日本新聞社、奇幻社プロモーション	7月14日開展式、その後遠藤彰子氏による作品解説。15日「遠藤彰子講演会」。16日「遠藤彰子ギャラリートーク」。7月27日、8月3、10、17、24日「担当学芸員によるイチ推しトーク」。7月29日、ナイトミュージアム「黒木あるじと夜美術館をゆく」。8月5、6日「遠藤彰子芸術道場」(5日は作家と芸工大生による公開制作「紙上ドローイングバトル」。6日は作家による芸術指導「なんでも芸術相談ー彰子の部屋」)。8日「かたらい鑑賞Day」。
第78回山形県総合美術展	9月2日～18日	3,880	151	727	2,267	7,025	山美、山新、山放、県美術連盟、山形県、県生涯学習文化財団、市教委、県芸術文化協会、県造形教育連盟、べんてる	橋本弘安(日本画)、遠藤彰子(洋画)、岩間弘(彫刻)、藤原信幸(工芸)の4氏による審査。第65回こども県展を併催。9月2日授賞式。
第48回山形県総合書道展	9月23日～ 10月9日	877	47	92	1,337	2,353	山美、山新、山放、県総合書道会、山形県、県生涯学習文化財団、県書道連盟、県教委、山形市、市教委、県芸術文化協会	吉柳祥雲、植松龍祥、高橋欽屋、秋葉煌洋、我彦芳柳、西村瑛、松田史道、平田洋子の8名による審査。9月23日吉柳祥雲氏、30日我彦芳柳氏ギャラリートーク。10月10日授賞式。
ゼロ[から]の絵画 木嶋正吾展	11月3日～ 19日	955	44	32	625	1,656	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	11月3、19日木嶋正吾氏ギャラリートーク。5日、12日、19日「担当学芸員によるギャラリートーク」。
没後50年 土田文雄展	12月14日～ 1月28日	1393	156	40	1249	2,838	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	12月16、23日、1月13日「担当学芸員によるギャラリートーク」。
近岡善次郎 聖なるイメージ							12月17日、1月7、14日「担当学芸員によるギャラリートーク」。14日14:00～山形大学名誉教授・元木幸一氏による記念講演会。	
第58回山形県写真展	2月22日～ 3月24日	2,500	226	85	3,273	6,084	山美、山新、山放、県写真連盟、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形市、市教委、県写真材料商組合	2月10、11日野町和嘉氏による審査(非公開)。2月25日山形交響楽団メンバーによるフルート四重奏コンサート。3月24日授賞式。
企画展 計(A)		31,806	1,569	3,722	20,786	57,883		

【収藏品によるテーマ展】

フランス近代絵画を楽しむ 服部コレクション・ 吉野石脊コレクション	4月1日～ 3月24日	5,038	212	324	4,947	10,521	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	
長谷川コレクション 紅花商人が守り伝えた名品								
収藏品によるテーマ展 計(B)		5,038	212	324	4,947	10,521		

令和5年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

館主催展計 (C=A+B)		36,844	1,781	4,046	25,733	68,404		
---------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--

【展示施設貸与事業など】

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
山形県水彩画会展	5月10日～5月14日	836	-	-	-	836	山形県水彩画会	
菅野苔石書展	5月10日～5月14日	661	-	-	-	661	東邦書道会	
龍生派山形県支部創立70周年記念いけ花展	5月13日～5月14日	1,394	-	-	-	1,394	龍生派山形県支部	
日展山形会展	5月18日～5月28日	1,224	-	10	738	1,972	日展山形会、山形新聞・山形放送	
創琢書道展	6月1日～6月4日	497	-	-	-	497	創琢書道会	
キャシー中島とメレクイキキルト展	6月9日～6月11日	848	-	-	-	848	スタジオ・ケイグループ	
山形県民ふれあい書道展	6月22日～6月25日	641	15	60	673	1,389	山形県民書道会	
示現会山形展	6月28日～7月2日	318	8	8	492	826	示現会、示現会山形支部	
櫻墨書院展	7月5日～7月9日	1,032	-	-	-	1,032	櫻墨書院	
山形市芸文協総合展覧会	10月11日～15日	3,931	-	-	-	3,931	山形市、市教委、市芸術文化協会	
毎日書道展東北山形展	10月18日～22日	327	17	10	1,516	1,870	毎日新聞社、毎日書道会	
読売書法展東北展	10月25日～29日	311	15	31	1,097	1,454	読売新聞社、読売書法会	
山形県医家美術展	11月22日～26日	669	-	-	-	669	山形県医師会	
北展会員会友展・公募展	11月22日～26日	686	-	-	-	686	東北現代美術協会	
墨華会書道展	12月1日～3日	658	-	-	-	658	墨華会	
MOA美術館山形県児童作品展	12月2日～3日	208	-	-	-	208	MOA美術館山形県児童作品展実行委員会	
東邦書道会全国展	12月8日～10日	482	-	-	-	482	東邦書道会	
誠筆書展	2月1日～4日	720	-	-	-	720	誠筆会	
山形デザイン専門学校卒業進級制作展	2月10日～12日	551	-	-	-	551	山形デザイン専門学校	
健康福祉際美術展	2月16日～18日	477	-	-	-	477	山形県社会福祉協議会 山形県老人クラブ連合会	
展示施設貸与事業計(D)		16,471	55	119	4,516	21,161		

全展覧会 総計(E=C+D)		53,315	1,836	4,165	30,249	89,565		
----------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--



令和5年度新収蔵品リスト

令和6年3月31日現在

○寄贈

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
根上富治	猿		紙本着色	72.0×53.0
加藤松溪	清陰詩情	1942	紙本着色	141.0×15.2
番場三雄	帰路	2010	紙本着色	162.0×162.0
番場三雄	気配	2011	紙本着色	162.0×162.0
前田春治	静物	1960年代	キャンヴァス・油彩	41.5×32.0
遠藤彰子	揺れる風(卵の花姫)	2023	キャンヴァス・油彩	259.0×194.0
木嶋正吾	絶対零度 84-B	1984	ミクストメディア	227.0×182.0
木嶋正吾	零度 99-27	1999	ミクストメディア	194.0×130.0
木嶋正吾	零度 17-1	2017	ミクストメディア	182.0×364.0
新海竹太郎	馬	1922	ブロンズ	24.6×35.7× 8.3
川崎繁夫	牛之置物		ブロンズ	16.0×32.5× 13.5
川崎繁夫	日蓮聖人尊像		ブロンズ	24.5×18.5× 12.8
會田雄亮	岳陵	1980年代 後半	陶	60.0×11.0× 7.0
會田雄亮	積層 月蝕	1991	陶	20.0×径 30.0
會田雄亮	陶織	1991-94	陶	70.0×194.0

會田雄亮	陶織	1991-94	陶	70.0×194.0
會田雄亮	陶板 虹渡り	1996	陶	100.0×100.0
會田雄亮	陶板 月よ走れ	1996	陶	100.0×100.0
會田雄亮	陶板 風の道	1996	陶	100.0×100.0
會田雄亮	煉込山霞紋花器	2000	陶	27.0×径 19.0
會田雄亮	鍊上四方星座大鉢		陶	44.5×44.5× 14.6

※以上の美術品 21 件を基本財産取藏品(不可欠特定財産)とする。

○寄託

作 者 名	作 品 名	制作年	材 質 ・ 技 法	寸法(cm)
遠藤桑珠	湿原		紙本着色	223.0×164.0
佐藤無我	鬼の念仏		木彫	39.0×17.0× 16.0
佐藤無我	観音像		木彫	36.5×13.0× 12.0
佐藤無我	出山の釈迦		木彫	36.0×10.5× 10.5
佐藤無我	スサノオノミコト		木彫	31.0×17.0× 20.5
佐藤無我	二宮金次郎		木彫	29.0×12.0
佐藤無我	寒山像		木彫	41.2×18.0× 18.0

令和5年度収蔵品貸出一覧

作者名	作品名	借受館又は借受者	貸出事由	貸出期間
椿椿山	足利遊記	板橋区立美術館	椿椿山展 軽妙淡麗な色彩と筆あと	3/1-5/18
長澤蘆雪	富士見西行図	府中市美術館	春の江戸絵画まつり 江戸絵画お絵かき教室	4/5-5/23
葛飾北斎	北斎漫画 201点	刈谷市歴史博物館 秋田県立美術館	浦上コレクション 北斎漫画 —驚異の眼・驚異の筆—	4/18-9/12
萬鉄五郎	かなざり声の風景	川崎市岡本太郎美術館 足利市立美術館 久留米市美術館 町立久万美術館 碧南市藤井達吉現代美術館	顕神の夢—幻視の表現者— 村山槐多、関根正二から現代まで	4/19- 2024/3/2
ミレー	群れを連れ帰る羊飼いの	茨城県立近代美術館	土とともに 美術にみる 〈農〉の世界 —ミレー、ゴッホ、浅井忠 から現代のアーティストまで—	6/13-9/21
今泉篤男 ほか	監獄の外郭 など12点	米沢市上杉博物館	今泉篤男と美術	6/22-8/24
狩野探幽	龍図	山寺芭蕉記念館	妖怪探訪 —“もののけ”の 不思議な世界—	7/13-9/5
桜井浜江	二人 など6点	(公財)三鷹市スポーツ と文化財団	桜井浜江 初期作品展	9/15-10/26
谷文晁	慈母観音図	栃木県立美術館	文晁と北斎 —このふたり、ただものにあらず	10/4-12/26

令和5年度収蔵品貸出一覧

モネ	ヴェルノン教会の眺め ジヴェルニー付近のリメツの 草原	上野の森美術館	モネ 連作の情景	10/6- 2024/1/30
野尻佐太右 衛門	裸婦	致道博物館	彫刻の人 野尻佐太右衛門	10/19- 2024/4/14
ローランサ ン	五人の奏者	アーティゾン美術館	マリー・ローランサン —時代をうつす眼	11/9- 2024/3/8
モネ	ヴェトウイユ、サン＝マルタ ン島からの眺め テムズ川のチャリング・クロ ス橋	大阪中之島美術館	モネ 連作の情景	2024/1/30-
葛飾北斎	北斎漫画  201点	長崎歴史文化博物館	浦上コレクション 北斎漫画 —驚異の眼・驚異の筆—	2024/2/28-